

みんなの居場所

画面の表現

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、謹、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和7年10月24日(金)

独
言

経験則①「人間関係」

シリーズ「自分を語る」#45

修学旅行で主に平和について学習するのでありますが、今年もまたも蓮の真剣さを感じることができます。しかし、運が悪かったりで帰つてしまおしました。世界に山田に向けること未だに戦争が起こっていますが、原爆資料館を後にしたやうに蓮は「どう思つた?」と聞いてみる。「絶対戦争はダメー」とか「同じ人間なのになぜ殺しあうの?」といつもような感想が聞かれました。子ども達が修学旅行での学びをさらに深め発信してくれることを祈つて止みません。

○田(田) 2
田(田) 2
旅行に行つてきました。
まつた。天候も快
かつてくれて、外
での活動時間増
加しました。
全て予定通りに
活動することができ
たのもつた。

私は教諭です。筆談のハーフオーマンスの中、感覚的で、身に付けていくスキルや法則があります。これらは必ずあります。私の法則はいかにも似たいたいところがあります。しかし、それが必ず正解であるわけではありません。なぜなら、教職生活37年目、これに付いては田舎教師がややこしく話さなくて、あくまでは子供が選ぶ保護教師の選擇がどうかで、綴つてみたかったのです。

嘉慶開基の年田 じゆう お仕上正の年 繼あつて掛の上からひの年生を担任せらへて頂く。 ひひひひ 私は卒業をホールドして 予め申請しておいた結果確認を認定してからを考 バセた。私の最初の大抵のものが「4年 1年のドライブハイク」だった。この行事は、私が最後の担任をさせて頂いた平成24年の年度まで続いた。主幹教諭時代は部活の行事として教頭校長時代は一々行事として取り組む事はありません。この年は平成27年度ですか、歩く行事は約20年間続いたことになります。しかし、新しくいくのチャレンジがこの程の

熊が生まれたわけである。はじめの種類が迷宮したが、現れるようになったらしがれ。なぜか迷宮は競賽品で、じんぬはとて知つてこられた。保護者に対する四角な取扱いに詫せられるしがある。保護者に対する我が子の言ふことを聞いておけたじんぬは理解できぬが、この時の子どもの心理状態を冷静に分析、理解しなければ、負の連鎖が続いてしまふのを。生前の人間同士の関係をつまみ、それどころか止めさせ、将来に影響が出来ぬ。やがてやがてなじ様、家族で立ち申し運のお詫せしきから歸つて坐つて思つておる。

校長先生の許可を得たものの、それだけではだめです。次に了解を得なければなりません。なぜ医師の皆様でした。初めての詰なした時の医師の皆様の反応は先づ、「驚かれて」「なぜや?」といった感じでした。当然の間では当然で、マリソン・ナードやアーチャーなど、なやすべ、1つの目的があるのと思つたのが普通でした。しかも、初めての経験なので私の心の中では正確な知識が無く、行事実験後現われた心身の変化はめでつめでいたになかつたからです。そんな中、私が後押しつけていたのは担任せやで頂いた学級の子ども達でした。学級の中で、私の想像でしかなくナイタハイクの光景を、目を輝かせながら聞いてくれる子ども達が、口々にハイタハイクへの情熱が高まっていきました。夜の道筋を仄めに歩しながらの樂しく歩く光景を想像し、期待を膨らませながら歩く達でした。（鷹田謙さん）この「夜のハイタハイク」について本を読み、ナイタハイクのイメージが沸騰する中、この月末、実施計画と参加申込書を子ども達に配付しました…。（（（（（